

大自然に囲まれて楽しいお泊り保育

7月29・30日に年長児が順源会「山の家」にお泊り保育に行ってきました。

友だちと一緒に自然の中を散策し

たくさんの虫を発見。

なかなか捕まえることができないとどうやったら捕まえることができるかを

友だちと作戦会議。

捕まえた時の得意顔はどの子も最高の表情でした。



自分たちでお米をとき、飯盒炊飯にも挑戦。飯盒のふたを開け、炊けたお米を見たたん「わあ〜」と歓声が…。

自分たちで炊いたご飯の味は…。

「おいしい!!」の一言です。



夜には、虫の鳴き声を聞きながらくまの・みらい保育園のお友だちとキャンプファイヤーを楽しみました。

初めて会う友だちとも、すぐに仲良くなり、手をつなぎ、元気な歌声と笑い声が山の家いっばいに響き渡っていました。



保護者の方と離れて過ごした2日間。たくさんの楽しい経験はもちろんですが、身の回りのことを自分でしたり、お友だちと力を合わせて最後まで取り組んだり、一人ひとりの子どもたちの自信に満ち溢れた表情をたくさん見ることができました。このたくましく育った姿をこれからも大切に、様々なことに自分から挑戦して行ってほしいと思います。

後日ロビーにお泊り保育の様子を流します。ぜひ、他学年の保護者の方も数年後の我が子の成長に思いをはせながらご覧いただければと思います。



令和4年度8月の園だより

自己肯定感を高め非認知能力の育成のために

7月2日(土)の運動会では、本当に暑い中たくさんのご参加、ご観覧、ご声援をいただきありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様、職員の皆様、子どもたちを取り巻くすべての皆様のご協力があり、無事に運動会を終えることができました。本当にありがとうございました。

運動会の翌週の月曜日のことでした、「園長先生、あのね。うんどうかい頑張ったってね、私の大好きなお寿司食べに行ったの。」と耳打ちしてくれる子や、ご家族に撮ってもらったであろう運動会での写真をそっと見せてくれる子がいました。それらのことを伝えてくれる時、どちらの子も少し恥ずかしそうに、はにかんだ笑顔でしたが、一方で、どこか誇らしげでもありました。その誇らしいと感じられる心情に至るまでの行程は自己肯定感を築いていくうえにおいてとても大切なことではないかと改めて感じ得ました。

今回、耳打ちしてくれた子ども、写真を見せてくれた子どもは、あの猛暑の中、自分たちのやりたいことに取り組み、それを大好きなご家族に見てもらえました。さらに、そこには子どもたち自身が精一杯やったという頑張りや達成感があり、すぐに、大好きなご家族に褒めてもらい、認めてもらえたという経緯がありました。加えて、その状況や思いを誰かに伝えたくてたまらなかった時、タイミングよく伝えられる人がいて、自分の嬉しさや誇らしさといった心情を伝えることができました。このサイクルにより、子どもたちの承認欲求はさらに満たされ、自己肯定感の礎を形成しているのではないかと思います。

つまりは、自己肯定感、達成感が得られた

時に、他人(特に大好きな人)から認めてもらえ、さらに、その満たされた思いを誰かに伝えることで育まれているのだと思います。

自己肯定感が高まると、様々なことへ取り組む際の自信となり自尊心が高まります、また、例え失敗した時であってもやり直したりする粘り強さや忍耐力の形成にもなり、いわば非認知能力の育成に繋がっていきます。

園内報第58号巻頭文「今なぜ非認知能力なのか」において、理事長 松尾 龍一が「乳幼児期に身体を通して身につけた楽しかった体験や達成感などは、潜在能力として一生持ち続けるという点で性格や人格に影響するともいわれています。(～省略～)人生すべての幸福度は乳幼児期の育ちにあるといっても過言ではないでしょう。貴重なこの時期を理解して、快い楽しい環境を用意して非認知能力や主体性を伸ばしてあげたいものです。」と、子どもたちの非認知能力の大切さと同時に一生を左右することについて記述しています。

子どもたちの自己肯定感を高め非認知能力を育成されるかどうかは、保育者や園での関わりだけではなく、子どもたちが大好きな保護者の皆さまの働きかけや、しっかりと褒めてもらえた、認めてもらえたという経験により変わってきます。

これからも、子どもたちの園での様子や姿をきつずノートやおたより帳、お話でたくさんお伝えしていきたいと思っています。引き続き、子どもたちの今の姿を受け止めていただき、しっかりと認めていただければと思います。

園長 久保 徹平

子育て応援メッセージ

抱きしめるだけで
愛は伝わる



子どもはお母さんにギュッと抱きしめられると、そこからお母さんの優しいぬくもりがたくさん伝わって、とっってもとっっても心が落ち着きます。とくに小さい時はたくさんふれあってください

いろは出版 宇津崎光代/知見 著
「だいじょうぶだよおかあさん」

消さないで
あなたの心の
注意の火

広島市南消防署
警防課 救助係

消さないであなたの心に

